

第 118 回 ITER 機構職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 31 年 3 月 9 日（土）～12 日（火）

東京工業大学 大岡山キャンパス（第 66 回 応用物理学会春季学術講演会）

2. 来訪者 83 名程度

3. 説明概要

第 66 回 応用物理学会春季学術講演会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募とインターンシップに関して説明を行った。

（ITER 計画管理グループ 三上、田中、迎、寺門、GE 本社 フォルク）

4. 主な Q&A

Q: ITER はどういう意味？

A: 「ITER」は、国際熱核融合実験炉が語源で、イーターと読みます。ITER 計画は、平和目的の核融合エネルギーが科学技術的に成立することを実証する為に、人類初の核融合実験炉を実現しようとする超大型国際プロジェクトです。ラテン語で道や旅という意味を持つ「ITER」には、核融合実用化への道・地球のための国際協力への道という願いが込められています。

Q: 核融合は安全なの？

A: 核融合では、燃料は希薄なガス状で外部から常に供給しますので、ガスレンジのように元栓を閉じれば反応は止まってしまいます。連鎖反応を利用しないシステムですので、原理的に暴走することはありません。

Q: ITER はいつ運転を開始するの？

A: 2025 年に最初のプラズマが点火される予定です。

Q: インターンシップに参加するために英語は必要？フランス語は？

A: ITER 機構の公用語は英語ですので、ある程度の英語でのコミュニケーション能力は必要です。フランス語の知識は求められませんが、現地で生活する中で役に立つかもしれません。

Q: 現在募集されているインターンシップのテーマでどんなものがありますか？

A: 2019 年募集中のリストは、ITER 機構公式サイトにてご確認いただけます。募集されている分野は、技術系だけでなく事務系のものもあります。

<https://www.iter.org/jobs/internships>

Q: 今まで参加したインターンはどこの学校から行っているの？

A: 日本の大学からは 5 名、フランスの大学（留学期間中）から 3 名がこれまでの実績となります。

5. 展示会の様子

